

代表質問

未来市川



〔総括質問者〕
 竹内 清海 ほとんどどうな
 国松ひろき 大久保たかし
 堀内しんご

パラスポーツの環境整備

問 施政方針では「スポーツの力は、まさに活力を与えてくれます」との表現がある。令和8年開催のミラノ・コルティナオリンピックでは本市在住の中井亜美選手が私たちの胸を熱くさせた。7年に日本で初めて開催されたデフリンピックは、大きな感動と勇気を与えてくれた。パラスポーツは、競技者自身の健康増進や人との交流を通じた社会参加の創出にもつながるものであり、積極的に推進すべきものと考えているが、

市では障がい者がスポーツを行うための環境をどのように整備していくのか。
 答 障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しめる環境を更に整備していくためには、全ての人が、触れ合い、支え合い、お互いの理解を深めることが重要である。今後も、パラスポーツの魅力を引き続き発信していくと共に、いちかわスポーツフェスタ等多くの市民が参加できるスポーツイベントにおいて、実際に競技を体験する機会を一層増やしていく。

複合施設整備事業

問 信篤図書館、信篤公民館、信篤市民体育館などを一つの建物に集約する複合施設整備基本計画が令和6年度に策定されたとのことである。新しく整備する施設には、ぜひ一工夫あるようなインクルーシブ遊具を設置して、誰もが楽しめる施設にしていきたいと思う。複合施設の整備に関する今後の予定について、また、既存の各施設は、いつ頃まで利用することができるのか。

答 本事業については、8年度に公募を開始し、プロポーザル方式により事業者を選定する予定である。選定事業者との契約締結後、既存建物の解体と新築工事を行い、13年度の完成を目指している。また、既存施設、信篤市民体育館などを一つの建物に集約する複合施設整備基本計画が令和6年度に策定されたとのことである。新しく整備する施設には、ぜひ一工夫あるようなインクルーシブ遊具を設置して、誰もが楽しめる施設にしていきたいと思う。複合施設の整備に関する今後の予定について、また、既存の各施設は、いつ頃まで利用することができるのか。

訪問歯科健診

問 本市では、在宅療養者等に対する歯科相談業務や啓発事業などを歯科医師会が担当している。また、訪問歯科健診については、事業の選定手続きに概ね1年を要すること、同じ敷地内で建て替えるため既存施設は全て解体する計画であることから、9年度中のいずれかの時期をもって一斉に閉館することを考えている。なお、市民課の窓口連絡所と地域ケアシステムについては、仮の施設での運営継続を検討している。具体的な時期については、見通しが付いたところで施設利用者や市民へ周知していく。

答 在宅療養者等に対する相談業務では、訪問歯科健診に関する相談や要望はなかったが、外出困難な人への対応については、引き続き委託して実施している。令和6年度の歯科相談は120件で、そのうちの約40件が訪問歯科診療を希望しており、希望者全員に診療が行われたとのことである。このような診療は今後も継続して欲しいと考えているが、訪問歯科診療は起きた後の対処であることから、大きな問題等を見逃すことにならないか。そこで、在宅療養者等のためにも予防的立ち位置の訪問歯科健診を導入する必要があるかと考えるが、本市はどのように認識しているのか。



ハートフル障がい者等歯科診療所

きーズや他市の実施状況などを調査していく。

自由民主の会



〔補足質問者〕
 中山 幸紀 加藤 圭一
 細田 伸一 青山ひろかず

外国籍児童生徒の支援

問 教育行政運営方針では、誰一人取り残さない学びの保障として、外国籍児童生徒に対して日本語指導の充実を図るとあるが、支援を充実させた場合、教員の負担は増加し、時間と労力が割かれると考える。そこで、外国籍児童生徒に日本語指導を行う教員の配置及び加配はどのように行うのか。

答 現在、外国籍児童生徒へ日本語指導を行うための日本語指導教室を、小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校に設置しており、14人の員費負担教員を配置している。今後、新たに教室を設置する場合、教員の増員が必須となることから、指導が必要な児童生徒数の調査や、本市の人口増に伴う外国籍児童生徒等への支援の実態も踏まえ、引き続き、千葉県教育委員会に、教員の配置を要望していく。

本八幡駅北口駅前再開発

問 施政方針では、「本八幡駅北口駅前地区の再開発により、自然と調和した、新たな付加価値の創出に取



日本語指導教室での様子

り組んでまいります」とあるが、「自然と調和した、新たな付加価値の創出」については、どのようなものをイメージしているのか。
 答 平成30年に策定した「本八幡駅北口再開発基本構想」において、調和を踏まえた景観を創出する緑のプロムナードの整備や、連続的な緑の配置により潤いある都市空間となるよう方針を定めている。「自然と

調和した、新たな付加価値の創出」とは、その基本構想に定められた方針に基づき、葛飾八幡宮への連続的な緑を創出するため、低層空間への積極的な緑の配置や、植栽豊かな広場等を整備することを考えている。
 令和8年度当初予算に

ついては、市税収入が過去最高額となる見込みに加え、国や県からの各種交付金があることから、過去最大の予算規模とのことである。そこで、市税等の一般財源収入の増収分については、既存の事業及び市民サービスへ還元していかねばならないと考えるが、8年度当初予算においては、どのように配分したのか。
 答 市税等の増収分につい

ては、社会保障制度や基礎的なサービスの維持、公共施設の運営等、市民生活の基盤となるサービスを継続するための予算として活用すると共に、残余部分を一時的に財政調整基金へ積み立て、新年度の補正予算で計上が見込まれる政策的な新規拡大事業の財源として活用を予定している。

日本共産党



〔総括質問者〕
 清水みな子 やなぎ美智子
 廣田 徳子

(仮称)言語探究科の導入

問 教科の新設や大きな変化があるときには、メリット・デメリットを出し合い、関係部署や教員、児童生徒の声を聴きながら進めるべきと考えるが、教育振興大

綱目体化パッケージで示された(仮称)言語探究科を導入するに当たり、総合教育会議では、教育委員会からどのような意見があり、どのように取り入れたのか。
 答 総合教育会議における教育振興大綱目体化パッケージ策定に関する協議では、教育委員会から「児童生徒の